

稲わら等の利用に関する全国調査について (中間取りまとめ)

平成23年7月28日
農 林 水 産 省

福島県産牛肉において、食品衛生法上の暫定規制値を上回る放射性セシウムが検出されました。その原因として東京電力福島第一原子力発電所の事故発生以降に収集された稲わら（以下「原発事故後に収集された稲わら」という。）の給与が疑われることなどを受け、原発事故後に収集された稲わらの利用状況について、各都道府県を通じて緊急調査を行いました。

記

1 調査の目的

今回の調査は、原発事故後に収集された稲わら等の利用状況や全国での流通の現状を明らかにし、牛肉の安全の確保のさらなる強化を図るための今後の対策の検討に役立てることを目的として行っています。

2 調査の方法

(1) 東北・関東の11都県の調査

牧草、露地野菜、茶等で暫定許容値や暫定規制値を上回る放射性物質が検出されている11都県（以下「東北・関東の11都県」という）にあつては、各都県が関係機関と協力して、全ての肉用牛及び乳用牛を飼養する農家に対し、原発事故後に収集された稲わら

等を飼料等として利用していないか等について、対面調査（対面が困難な場合には電話等による聞き取り）を行いました。

なお、各都県には、7月15日に調査を行うようお願いしました。

※ 11都県：岩手県、宮城県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、静岡県

（2）11都県を除く全国調査

（1）の東北・関東の11都県を除く36の道府県にあつては、道府県が関係機関等に対し、当該道府県の畜産農家において東北・関東産の稲わら等の流通や飼料等として使用されているか等について、聞き取りを行いました。

なお、各道府県には、7月19日に調査を行うようお願いしました。

※本調査については、汚染稲わらを食べさせたり流通していた道県では対象農家等の精査を継続していることから、それらの精査が終了するまで本調査を継続します。

3 調査の結果

(1) 東北・関東の11都県の調査結果

- ① 東北・関東の11都県で全ての肉用牛及び乳用牛を飼養する23,424戸のうち、7月27日現在で97%にあたる22,800戸から聞き取りを行いました（別添1の①）。肥育牛農家については、3,390戸（100%）、酪農については6,112戸（99%）、肉用繁殖牛農家については13,298戸（96%）の調査を行っています。
- ② 別添1の②のとおり、調査した22,800戸のうち、約3%にあたる783戸において原発事故後に収集された稲わら等を利用している可能性があることが明らかになりました。その内訳は、肥育牛農家は181戸（3,390戸の約5%）、酪農は134戸（6,093戸の約2%）、肉用繁殖牛農家は468戸（13,298戸の約4%）となっています。
- ③ 各県は、原発事故後に収集された稲わら等の利用の可能性のある農家の調査結果を随時公表しており、別添1の③のとおり、7月27日までに11都県のうち8県計120戸^{（注）}で暫定許容値を上回る稲わらが給与、又は給与された可能性が否定できないとしています。

注：農家への立入調査により採取した稲わらの検査結果が暫定許容値を上回った農家数及び稲わらを全量消費しており検査ができなかった農家数の合計。

(2) 11都県を除く全国調査結果

7月27日現在で、別添2のとおり、東北・関東産の原発事故後に収集された可能性がある東北・関東産稲わらの流通利用が8道県（北海道、青森県、秋田県、山形県、新潟県、岐阜県、三重県、島根県）で明らかとなりました。

この8道県では、利用していた農家の調査結果を随時公表しており、7月27日までに計50戸で暫定許容値を上回る稲わらが給与、又は給与された可能性が否定できないとしています。

〔暫定許容値を超える稲わらの利用〕

【宮城県産：合計 130戸】

北海道 1戸、 青森県 1戸、 宮城県 68戸、
山形県 14戸、 秋田県 6戸、 福島県 2戸※、
茨城県 6戸、 埼玉県 2戸、 群馬県 2戸、
静岡県 1戸、 新潟県 17戸、 岐阜県 8戸、
三重県 1戸、 島根県 1戸

(※) うち1戸は、福島県産も併用していた。

【岩手県産：合計 13戸】

岩手県 13戸

【福島県：合計 24戸】

福島県 23戸 岐阜県 1戸

【栃木県：合計 2戸】

栃木県 2戸

【茨城県：合計 1戸】

茨城県 1戸

4 食肉の放射性物質検査の結果

暫定許容値を上回る稲わらの給与が確認された肥育牛農家からは、7月27日までに、別添2のとおり、2,965頭の牛が出荷されています。

このうち、流通している393頭の牛肉のサンプルについて放射性物質検査が行われました。その結果、31頭(8%)で食品衛生法上の暫定規制値を上回りました。

一方、362頭(92%)については、食品衛生法上の暫定基準値以下となっています。

(別添 1)

東北・関東の11都県の調査結果の概要

① 調査の実施状況

(単位:戸)

県 名	肥育牛農家		酪農		肉用繁殖牛農家		合 計	
	調査済戸数	今後調査 予定の戸数	調査済戸数	今後調査 予定の戸数	調査済戸数	今後調査 予定の戸数	調査済戸数	今後調査 予定の戸数
岩手県	454	0	1,176	0	5,793	0	7,423	0
宮城県	861	0	661	4	3,277	603	4,799	607
福島県	314	0	465	0	2,794	17	3,573	17
茨城県	364	0	494	0	409	0	1,267	0
栃木県	438	0	846	0	606	0	1,890	0
群馬県	295	0	703	0	250	0	1,248	0
埼玉県	113	0	305	0	49	0	467	0
千葉県	300	0	823	0	53	0	1,176	0
東京都	10	0	55	0	28	0	93	0
神奈川県	74	0	286	0	28	0	388	0
静岡県	167	0	298	0	11	0	476	0
計	3,390	0	6,112	4	13,298	620	22,800	624
合計	3,390		6,116		13,918		23,424	

平成23年7月27日 現在

注:一部の県で、調査継続中。

② 事故後収集稲わら等の利用の可能性のある農家戸数（経営別）

（単位：戸）

県 名	肥育牛農家		酪農		肉用繁殖牛農家		合 計	
	調査済戸数	利用農家戸数	調査済戸数	利用農家戸数	調査済戸数	利用農家戸数	調査済戸数	利用農家戸数
岩手県	454	37	1,176	31	5,793	94	7,423	162
宮城県	861	95	661	88	3,277	297	4,799	480
福島県	314	25	465	0	2,794	58	3,573	83
茨城県	364	12	494	0	409	2	1,267	14
栃木県	438	6	846	15	606	17	1,890	38
群馬県	295	3	703	0	250	0	1,248	3
埼玉県	113	2	305	0	49	0	467	2
千葉県	300	0	823	0	53	0	1,176	0
東京都	10	0	55	0	28	0	93	0
神奈川県	74	0	286	0	28	0	388	0
静岡県	167	1	298	0	11	0	476	1
計	3,390	181	6,112	134	13,298	468	22,800	783

平成23年7月27日 現在

③ 肥育経営における事故後収集稲わらの調査状況

(単位:戸)

県 名	飼養戸数	事故後収集稲わら等の利用の可能性のある農家戸数	汚染稲わら等 利用農家数 ※1	その他 ※2
岩手県	454	37	13	24
宮城県	861	95	68	27
福島県	314	25	25	0
茨城県	364	12	7	5
栃木県	438	6	2	4
群馬県	295	3	2	1
埼玉県	113	2	2	0
千葉県	300	0	0	0
東京都	10	0	0	0
神奈川県	74	0	0	0
静岡県	167	1	1	0
計	3,390	181	120	61

平成23年7月27日現在

※1 稲わら等の検査で暫定許容値を上回った農家数及び稲わらを全量使用していたため、検査ができなかった農家数の合計。

※2 稲わら等の検査で暫定許容値を下回った農家数及び、稲わら等を検査中又は、未検査のもの、稲わらは暫定許容値を上回ったものの、家畜への給与を行わなかった農家戸数の合計。

(別添 2)

食肉の放射性物質の検査結果

県 名	汚染稲わら等 利用農家数 (戸)	出荷頭数 (頭)	検査実施頭数		
			(頭)	暫定値超過 (頭)	暫定値以下 (頭)
岩手県	13	80	23	4	19
宮城県	68	1,183	20	6	14
福島県	25	571 (11)	144	20 (11)	124
茨城県	7	78	4	0	4
栃木県	2	5 (3)	0	0 (3)	0
群馬県	2	419	4	0	4
埼玉県	2	(2)	0	0	0
千葉県	0	0	0	0	0
東京都	0	0	0	0	0
神奈川県	0	0	0	0	0
静岡県	1	148	51	0	51
11都県 小計	120	2,484	246	30	216
北海道	1	14 (1)	3	0	3 (1)
青森県	1	0	0	0	0
秋田県	6	7 (2)	2	(1)	2
山形県	15	98	33	1	32
新潟県	17	111	60	0	60
岐阜県	8	170 (7)	27	0	27
三重県	1	70	16	0	16
島根県	1	11 (7)	6	0	6
その他計 (8道県)	50	481	147	1	146
計	170	2,965	393	31	362

()内の数字は、全ての肉がと畜場等で保管され、流通していない牛の頭数を示す(合計には反映されない)。